



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 10月号



今月の寄贈品コーナー

9月22日～10月30日

『浜辺の展覧会』

20名の実習生による展示

■今年も、9月13日から1週間、学芸員資格取得のため17大学から20名の学生が博物館実習にきました。

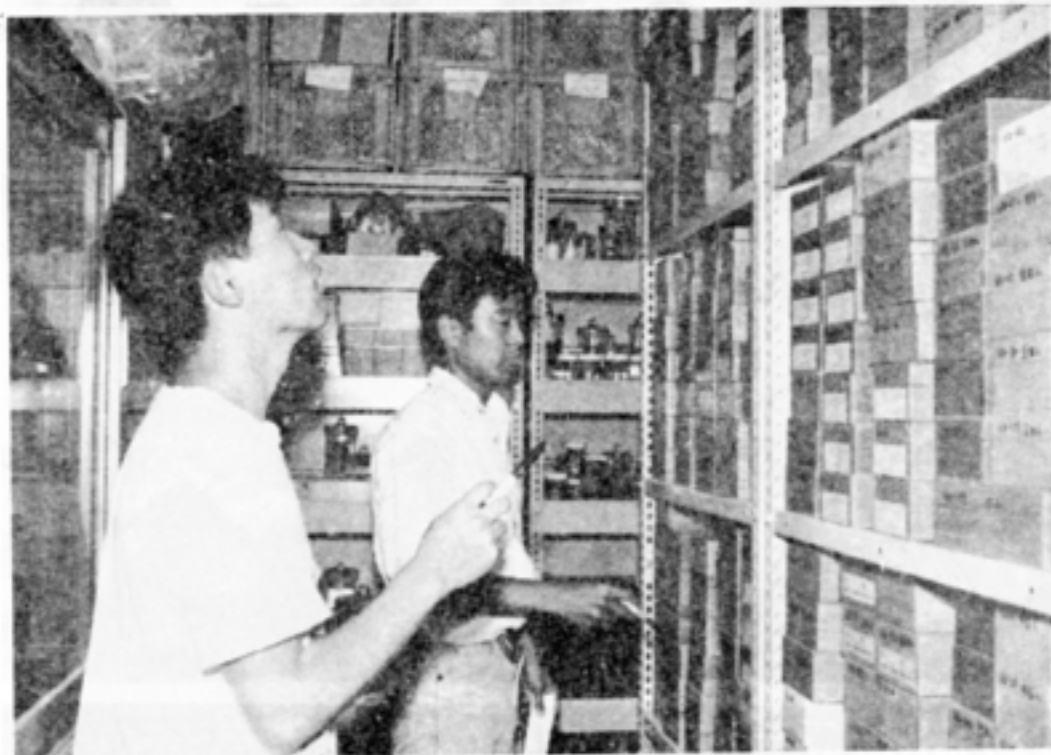
■初日は、平塚市博物館の概要について担当学芸員から説明を受け、引き続き博物館の展示を中心とした「ワークシート作り」に取り組み、展示について学習を深めました。

■2日目からの3日間は、歴史・考古・民俗・地質・生物の5つの分野に分かれ資料整理・現地調査・フィルムの現像や写真の焼き付けの実習を体験しました。

■残りの3日間は、恒例になっている寄贈品コーナーの展示製作に挑戦しました。今回実習生に与えられた展示テーマは、『漂着物』です。実際に、海岸で「漂着物集め」を体験し、展示に活かすことから始めました。その後、話し合いの結果、タイトルが『浜辺の展覧会』と決まり、4グループに分かれ展示製作に移りました。各グループ展示に趣向を凝らしました。来館されるみなさんに満足していただける展示になりましたでしょうか。ぜひ備え付けのノートにご感想をお書き下さい。

実習を終えて

■今回、私達20名の実習生は、9月13日～21日の内7日間に渡り学芸員実習を受けました。普段見る事のない博物館の裏側で学芸員の方々のご指導のもと、様々な作業を資料整理実習として博物館の収蔵する標本の整理、作成や古文書の解読などを行いました。皆さんは博物館の収蔵庫がどんなかご存知ですか？ 私は今回その中に入る機会を得ましたが、その中には展示されている資料や標本の何倍もの量と質の標本が収められており驚かされました。実習の後半では展示制作を行いました。テーマを「漂着物」として、集められた資料をもとに四苦八苦して作りあげたものです。色々と未熟な所もありますが、寄贈品コーナーに10月末まで展示してありますので、どうかご覧になって下さい。今回の実習で私は多くの事を学びました。



それは、これから博物館を見るときに新しい視点を与えてくれるでしょう。（木村正志）

■もう、寄贈品コーナーの展示は見ていただけましたか？ 構想1日・制作2日、我々実習生の努力の結晶です。日毎に「あそこはこうすれば良かった・・・。あ、ここも！」と反省点が増えていきますが、同時に「出来の悪い子ほど可愛い」と愛しくもあります。写真パネルの幾枚かは私の撮影です。大きく引

き伸ばされて美しいパネルになった作品を見ていると、野外での撮影中、ピントを合わせている間に1度に5ヶ所も蚊に刺されたり、突然の雷雨で車外に出られなくなったり、キロスズメバチにからまれて指示通りじっとしていたら学芸員の先生まで私をおいて逃げてしまった（！）り、現像に使う薬の臭いが身体に染み付いて昼食の時間が哀しかったり、といった苦勞も報われる思いです・・・？！

一人でも多くの方がこの展示を見て、平塚海岸に思いを馳せて下さったら嬉しいです。短くも充実した楽しい実習でした。

（南部みどり）

■私は、このたび初めてこの博物館へ来ましたが、館の印象は、問題があると思われるよ

うな点も見受けられましたが、教育普及活動を重視した地域博物館としては、十分な役割を果たしていると思います。実習期間中に特に感じたことは、学芸員の方々の熱意であり自分達の不勉強のため、時には辛口な

批判も受けましたが、これらは将来、必ずや生かされるものだと思います。また実習内容も十分に考えられたものであり、学芸員とは、どういうものなのかということのを改めて考えさせられ、学芸員に対する認識も変わりました。初日に館長さんから言われた「個性を出すように」ということについては、不十分で受け身となってしまったことは非常に残念です。（織田洋行）

お知らせとお願い

11月1日（火）～12月3日（土）まで
空調設備改修のためプラネタリウム一般投影はお休み
します。また、危険防止のため3階への立ち入りもできませんので、ご了承下さい。

寄贈品紹介

たくさんの寄贈ありがとうございました。
有効に活用させていただきます。ご協力に感謝申し上げます。敬称は略させて頂きました。

寄 贈 資 料 名	数	寄贈者名	部
キ ア シ シ ギ	1	岸本登志雄	生
ツ バ メ マ ダ ニ	1	川内	生
ヒ ゲ ダ イ	1	西山敏夫	生
クマガイソウ他	12	日本自然保護協会	生
モズ・ハ・マツハ・ゼリ	2	山岸良子	生
ル リ タ テ ハ	1	鈴木久恵	生
カモシカの頭骨	1	加藤春子	生
マカデミの抜け殻	6	上野村教育委員会	生
ノ ウ サ ギ	1	府川恒雄	生
ト ビ エ イ 他	6	西山敏夫	生
ア ビ	1	類 ウメ子	生
アカマデミの抜け殻	11	森 一彦	生
ヤ ブ サ メ	1	山崎 宏	生
ノ ゴ マ	1	山田 均	生
ヒメフキバツタ	2	和田一郎	生
ウ グ イ ス	1	新谷 勉	生
ミ ソ サ ザ イ	1	片倉広義	生
ミ類（ミコニイ他）	23	西村文彦	生
伝 統 こ け し	92	本間 満	学
木 地 玩 具	60	本間 満	学
こけし工人直筆色紙	57	本間 満	学
木地玩具文献資料	58	本間 満	学
いろはカルタ	2	本間 満	学
コ ミ ミ ズ ク	1	山崎 宏	生
メ ジ ロ の 巣	1	神奈川県環境部	生
鉱 物 標 本	7	梅沢俊一	地
鉱 物 標 本	5	中邑昭三	地
鉱 物 標 本 （南アフリカ共和国産）	2	長瀬キヨ	地
岩石標本（鳴門産）	3	馬場典子	地
ボーリング資料 （コア、報告書）	1	下水道建設課	地
玉 ね ぎ 石	1	全 節子	地
ハ マ グ リ 化 石	1	宮川誠一	地
赤谷鉱山産鉱物	5	中邑昭三	地

灰 長 石	1	前島利隆	地
水 晶 ・ め の う	1	岩崎秀夫	地
古 地 形 図	7	関上和男	地
ボーリング資料 （コア、報告書）	4	道路建設課	地
ボーリング資料 （コア、報告書）	7	道路建設課	地
ボーリング報告書	1	道路建設課	地
現 世 珊 瑚	1	馬場典子	地
鉱物標本：砂漠のハラ	1	長瀬キヨ	地
灰 重 石（山口産）	1	鷹 宏道	地
木 地 玩 具	13	本間 満	学
伝 統 こ け し	1	本間 満	学
伊豆半島産陸貝類他	45	大類正久	生
紀伊半島産貝類	12	井川洋介	生
木地玩具文献資料	3	本間 満	学
こけし工人直筆色紙	3	本間 満	学
木 地 玩 具	44	本間 満	学
泥 め ん こ	11	内田昭雄	学
イ タ チ	1	近内昭正	生
コア ホ ウ ド リ	1	関口 圭	生
アサギ・マカサキ	5	藤原智恵子	生
ハ ル ゼ ミ	25	長谷川道明	生
平成3年度空中写真	1	資産税課	地
アメリカ産岩塩	1	日本たばこ産業（株）関東塩業センター	地
南極産含ざくろ石 片麻岩	1	甘糟浅一郎	地
昭和63年度撮影平塚市航空写真パネル	1	都市計画課	地
赤鉄鉱（イギリス産）	1	西山 薫	地
砂漠の砂（カイロ産）	1	多田博幸	地
リカちゃん人形他	6	石橋智子	学
コガタスズメバチの巣	1	栗山雄揮	生
ハ ク セ キ レ イ	1	森田直樹	生
茅ヶ崎海岸漂着軽石	3	井川洋介	地
鳥（トラツグミ・ゴイサギ・ムクドリ）	3	横浜自然観察の森	生

部：生（生物部門）地（地質部門）学（学校教育部門） <受け入れ順に掲載しました。>

今月のプラネタリウム

ハッブルスペースステレスコープ

9月10日～10月30日

10月の行事予定

2	日	○自然観察会[秋の花と渡り鳥]
6	木	○自然観察会[秋の花と渡り鳥]
8	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会 天体観察会[金星・水星]
11	火	休館
14	金	◎星を見る会 [土星・金星を見よう]
15	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
16	日	○自然観察ゼミナール [カマキリ入門] 相模川の生き立ちを探る会 [山梨県方面]
22	土	古文書講読会
23	日	古代遺跡を探す会
27	木	裏打ちの会
31	月	月末休館

11月の行事予定

12	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会 天体観察会 (国立天文台)
13	日	○体験学習 [紙すき] 相模川の生き立ちを探る会 [煤ヶ谷石の産地・清川村]
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
20	日	古代遺跡を探す会
24	木	裏打ちの会
25	金	◎星を見る会[秋の星座と土星]
26	土	古文書講読会
30	水	月末休館

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

9/22～10/30寄贈品コーナー <実習生>
11/1～11/29寄贈品コーナー <地質部門>
9/10～10/30 プラネタリウム
「ハッブルスペース・ステレスコープ」
次回プラネタリウム一般投影は、
12月3日 からになります。

◆漂着物を拾う会◆

■海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

開催日：10月 8日(土)

11月12日(土)

時間：9:30～15:00

場所：平塚海岸・博物館<科学教室>

参加：自由

(花水川河口平塚側たもと集合)

備考：雨天時中止

★星を見る会「土星・金星を見よう」★

■望遠鏡による観察を通して、天体及び宇宙に対する理解を深めます。

開催日：10月14日(金)

時間：19:00～20:30

場所：博物館屋上(博物館科学教室集合)

参加：自由

備考：曇・雨天時中止

募集 ◆体験学習「紙すき」◆

■伝統の技術による手すき和紙の作り方を体験します。

開催日：11月13日(日)

時間：9:00～15:00

場所：博物館科学教室

参加費：700円

申込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、「紙すき」係まで。

締切：11月4日(金)

定員：20名(応募者多数の場合抽選)

行事に関するお問い合わせは、平塚市博物館 管理係・学芸係 0463-33-5111まで

あなたと博物館 19巻7号 通巻212号 03000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています